

新年あけましておめでとうございます。

残念ながら、キャンプ富士では、新型コロナウイルスのクラスター発生とともに新年を迎えることになりました。

新型コロナウイルスの発生から間もなく2年が経ち、その間、問題と向き合ってきましたが、今回のアウトブレイクはキャンプ富士が経験した中で最大のものです。

私共は積極的な対策を実施しており、高いワクチン接種率、3回目の追加ワクチン接種者の増加、隔離と行動追跡の実施、そして感染者への医療支援により、この新型コロナウイルスの挑戦に打ち勝つことができると確信しております。

2022年1月5日現在、キャンプ富士の陽性者の数は46人です。

この人数は、休暇から戻った者と日本国外から入国した者への行動履歴調査と有症状者の検査結果の数と一致します。

全ての人員は隔離され、新型コロナウイルスのプロトコルに基づき隔離が解消されるまで、医療班によって監視されます。

現在、キャンプ富士では以下の対策を実施しております。

-基地内外でのマスク着用は、兵舎内・飲食時・屋外での有酸素運動時を除き、義務付けられる

-基本的な感染対策の再確認：適切なマスク着用・衛生管理・職場での消毒・手で触れることが多い箇所の消毒・ソーシャルディスタンス・14日間の行動履歴の記録・十分な換気・不要な身体的接触（握手など）の回避

-基地内外のグループでの行動の制限

-分割シフトとテレワークの最大利用

-間仕切りや消毒剤、個人用保護具などの感染防止用品があることの確認

-特定された濃厚接触者の隔離と解除前の検査の実施

-レクリエーション施設・バー・クラブ・屋内飲食店など、基地外の屋内活動の制限。

日常生活に必要な不可欠な施設の利用のみ許可

-フードコートと基地内のクラブは、テイクアウトのみ利用可

-羽田に到着し、陽性と判明した者のピックアップには、軍の公式な輸送手段のみを使用

-外泊の禁止

現在把握している情報では、感染源は日本国内（特に東京と大阪）、海外からの帰国者、基地外での休暇から戻った者、基地内のセクション内など、複数あると思われます。

結論として、今回のアウトブレイクは、これらすべての脅威の要因が組み合わさって発生したものと考えます。

困難な状況ではありますが、新型コロナウイルスの感染拡大を迅速かつ積極的に阻止し、感染者の回復を支援しつつ、諸職種共同訓練センターとして重要な任務を遂行してまいります。

キャンプ富士司令官 ロバート・J・ボウディッシュ